

2022年12月期 第2四半期決算説明資料

2022年8月9日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(証券コード6464 東証プライム市場)



TRANSFORM NEXT2023

Precision for a Changing and Sustainable world

精密加工技術で社会環境の変化・持続可能な社会に対応
していきます

FY2022 上期業績ハイライト & 株主還元

売上は1Q、2Qともに順調な伸びを示す一方、費用増により利益率が低下

売上

- 売上収益：前年上期比+10.1%、前年下期比+15.3%
- 成長戦略：セラミック好調、アジア&メディカルは概ね計画に沿う

利益

- 欧州ローラー構造改革費用23億円が発生（同額の利益減）
- 上記を除いた営業利益は36億円。広範囲にわたるエネルギーコストの大幅な高騰及び中国ロックダウン影響が主因で利益率低下

配当

- 中間配当：13円/株
- 期末配当：17円/株（予定）
年間配当予定は、30円/株

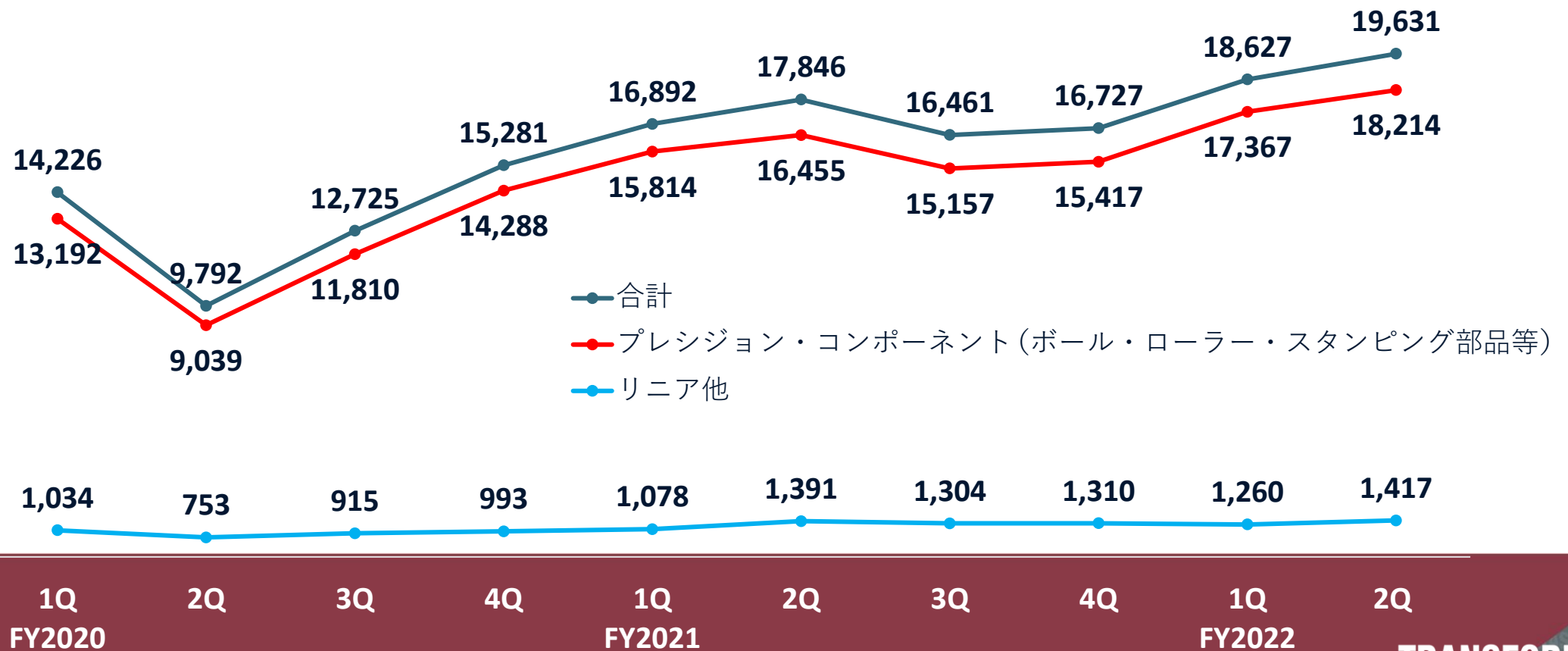
自己株式取得

- 8月15日から10月31日までに、自己株式取得（上限10億円又は130万株）を行う

四半期 連結売上収益推移

プレジジョン・コンポーネント売上収益：前年同期比10.7%増、前四半期比4.9%増
リニア他の売上収益：前年同期比1.9%増、前四半期比12.5%増

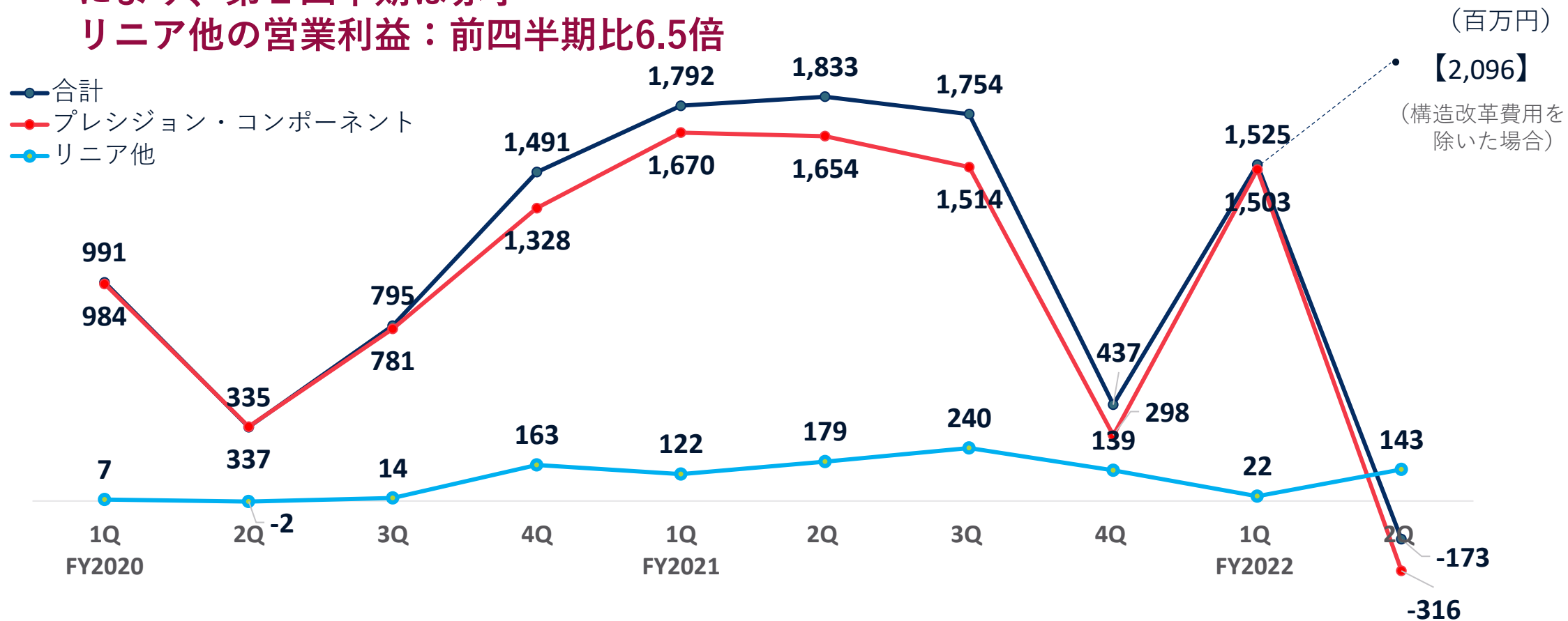
(百万円)



四半期 連結営業利益推移

プレジジョン・コンポーネント営業利益：欧州ローラー構造改革費用23億円の影響により、第2四半期は赤字

リニア他の営業利益：前四半期比6.5倍



FY2022 上期連結業績（前年上期比）

売上収益（除為替影響）：前年上期比＋3.1%

営業利益（同）：同▲65.5%、（除構造改革費用）同▲5.0%

	FY2021	FY2022			
	上期	上期			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
売上	34,738	38,258	2,442	1,078	3.1%
営業利益	3,625	1,352	101	▲ 2,374	▲ 65.5%
対売上(%)	10.4%	3.5%	—	—	—
（ご参考）営業利益 ^{※2}	3,625	3,621	176	▲ 180	▲ 5.0%
対売上(%) ^{※2}	10.4%	9.5%	—	—	—
EBITDA	5,312	3,147	223	▲ 2,388	▲ 45.0%
税前利益	3,258	1,542	738	▲ 2,454	▲ 75.3%
当期利益	2,680	399	595	▲ 2,876	▲ 107.3%

（百万円）

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

※2 “構造改革費用（2,269百万円）”を除く

FY2022 上期セグメント・地域別売上（前年上期比）

	FY2021	FY2022			
	上期	上期			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
グループ連結	34,738	38,258	2,442	1,078	3.1%
プレジジョン・コンポー ネントセグメント ^{※2}	32,269	35,581	2,377	935	2.9%
日本	6,274	6,692	—	418	6.7%
北米	6,656	7,001	892	▲ 547	▲ 8.2%
欧州	12,091	13,838	447	1,300	10.8%
中国	6,392	6,737	900	▲ 555	▲ 8.7%
アジア（除中国）	858	1,317	138	321	37.4%
リニア他セグメント	2,469	2,677	65	143	5.8%

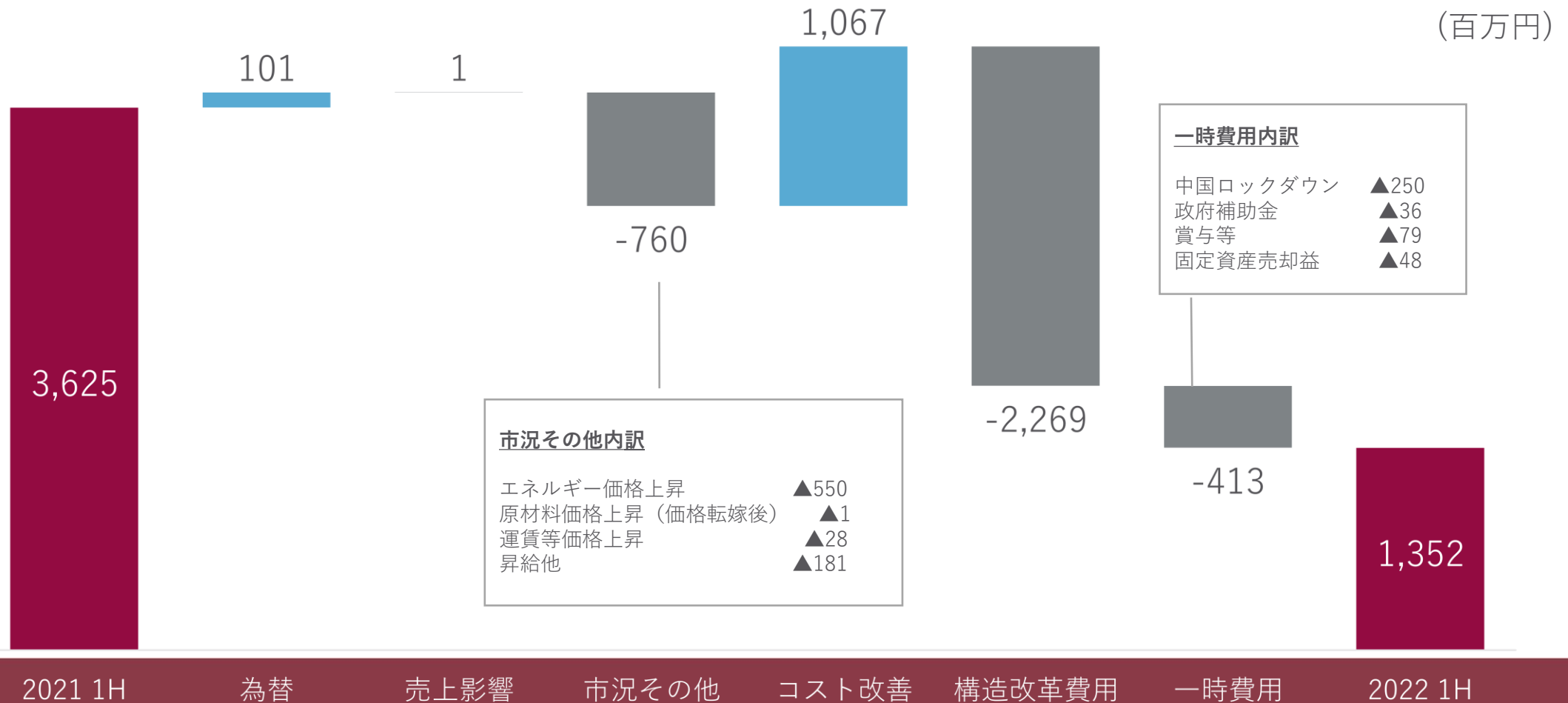
(百万円)

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

※2 セグメント間収益を除く

FY2022 上期営業利益増減要因

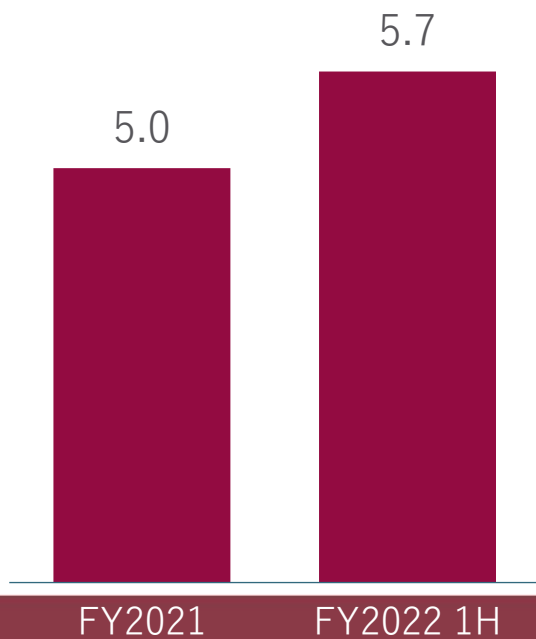
売上増加の一方、エネルギーコストの大幅な高騰・中国でのロックダウン影響及び構造改革のための一時的費用等により、対前年上期比営業利益は62.7%減の1,352百万円



BS及びCF

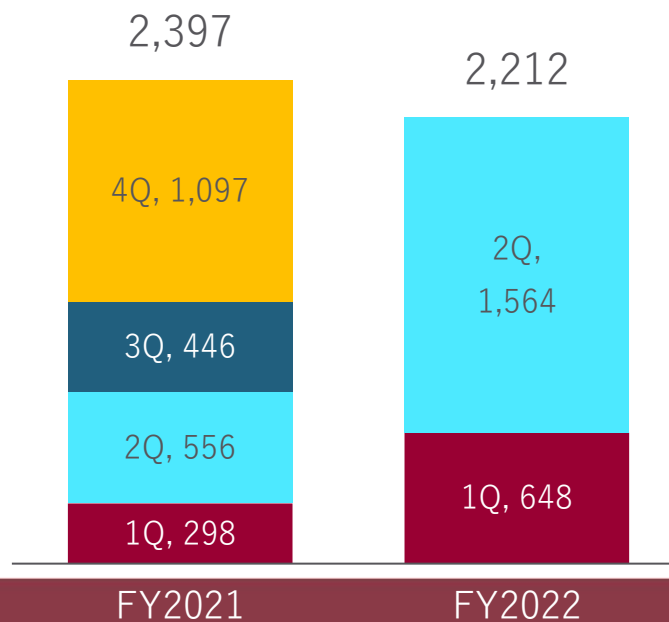
棚卸資産回転月数(月)

第3四半期以降の販売見込み
に対する備蓄在庫増



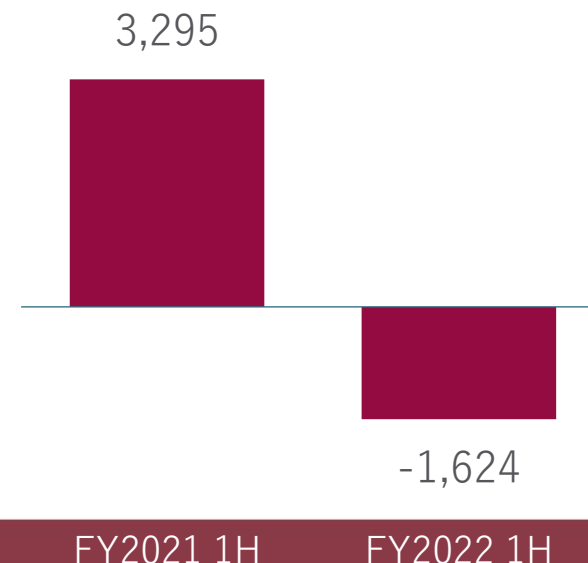
設備投資額(百万円)

成長に向けた設備投資を推進中



フリーキャッシュフロー (百万円)

成長に伴う在庫、設備投資増



成長戦略（FY2022 上期）

セラミックボールが成長戦略を強力に牽引し、この傾向はさらに強まる見通し

(百万円)

セラミックボール

メディカルデバイス

アジア地域での拡販

(除く中国、セラミック)

YoY +404
+21.8%

QoQ +206
+10.0%

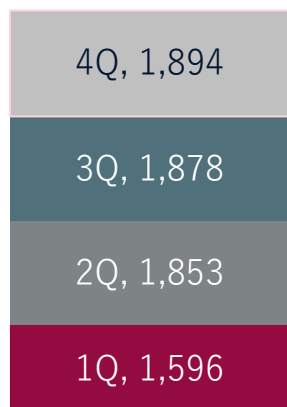
YoY +7
+2.3%

QoQ +15
+5.0%

YoY +145
+16.3%

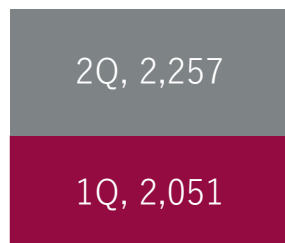
QoQ ▲18
▲1.7%

7,221



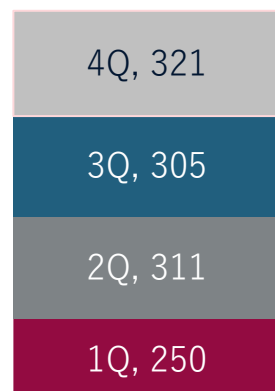
FY2021

4,308



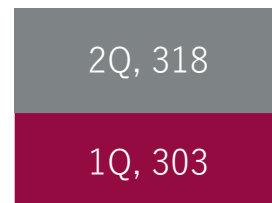
FY2022

1,187



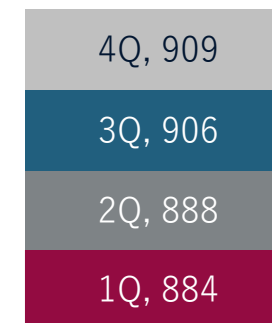
FY2021

621



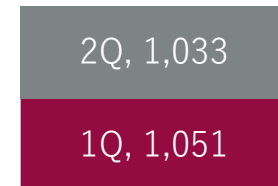
FY2022

3,587



FY2021

2,084



FY2022

TRANSFORM
NEXT2023

サステナビリティへの取り組み

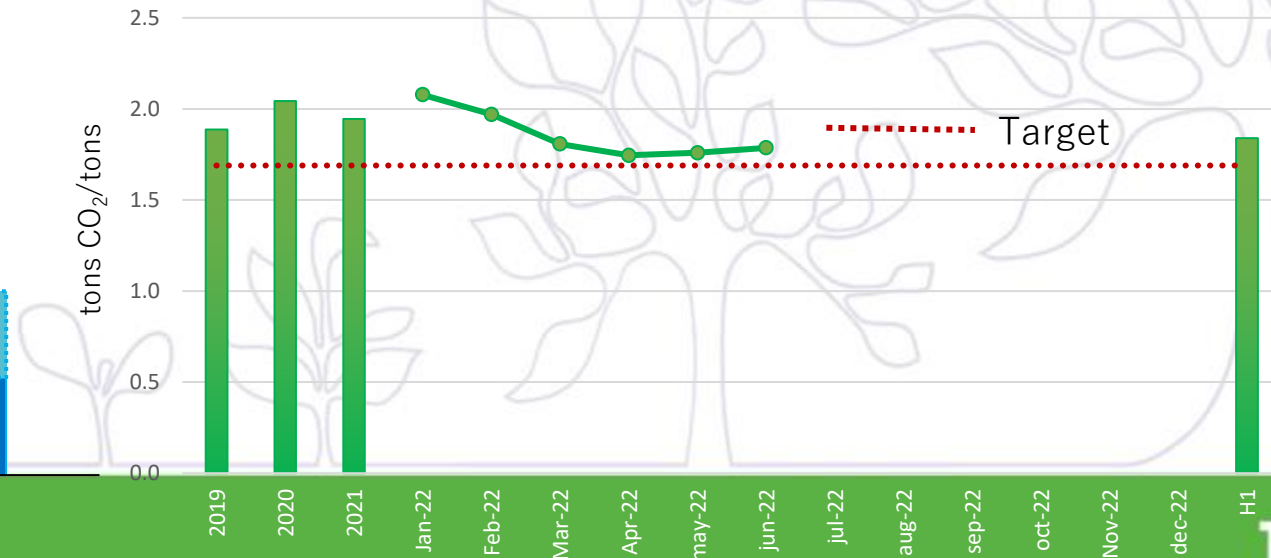
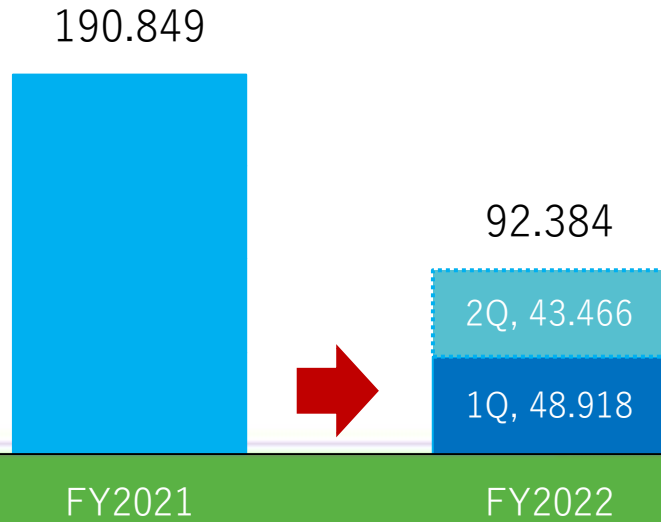
CO₂ 排出量削減目標



- 2030年までに、2019年比▲27.5%トンのCO₂削減
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

182.923 TON CO ₂	166.276 TON CO ₂	190.849 TON CO ₂	169.204 TON CO ₂	164.631 TON CO ₂	160.058 TON CO ₂	155.485 TON CO ₂	150.911 TON CO ₂	146.338 TON CO ₂	141.765 TON CO ₂	137.192 TON CO ₂	132.619 TON CO ₂
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

当社グループ目標



ESG戦略

TRANSFORM
NEXT 2023

免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。